

## 仮面にこめられた願い

企画展「学校がみんぱくと出会ったら」出展作品／茨木市立葦原小学校4年生 作 縦／25cm～50cm 横／23cm～40cm

## 八代 健志

茨木市立葦原小学校教諭

儀礼、神事、芸能でもちいられたり、それ自体信仰の対象となったり、人びとはさまざまな思いをこめて仮面をつくってきた。民族的な解釈はともかく、民博に展示されている数々の仮面にこめられた「思い」は、見学した子どもたちの心にも強い喚起力をもった。そこで図工科の学習として、自分の願いをこめた仮面をつくることになった。表紙の面は、世界の仮面にインスピレーションを得て、子どもたちが製作した作品の

ろおとなしいが、しっかり者で家族思いの女の子である。左上の作品などは、一見しただけでは何を表しているのか、わからない方も多いだろう。これは「風船を自分ひとりであくくませられるように」という願いにからめて、風船と自分のおなかの形を模したものだ。作者である男の子の自立への願いが感じられる。

ほかの面にも「お金持ちになれますように」「運動神経抜群になれますように」「長



一部である。

どんな願いがこめられているのか。中央右の面にこめられた願いは、「強くなれますように」。作者の男の子は、悪者をやっつけるような強さのイメージをテレビアニメの「タイガーマスク」に託して、自発的にインターネットで情報収集し、製作した。左下の女性の顔の面は、民博で見た韓国の面の影響を強く受けている。面にこめた願いは「きょうだい仲よくケンカをしない」。製作したのは、日こ

生きてきますように」など、四年生二〇名それぞれの願いがこめられている。これらの願いには「等身大の今の自分」が反映され、作品のどれをとっても、その子なりの自分らしさが精一杯、表現されている。一つひとつの仮面が、個々の生命のきらめきに輝いて見えるのは、教え子に対する私の欲目だけではないだろう。保護者からも好評をよんだこの実践の成果を一人でも多くの人にご覧いただきたい。